

なかとんべつ 町議会だより

Volume

197

平成29年4月25日発行



4月7日 小学校入学式

第1回定例会議決結果の一覧	3
私たちの一般質問	4
議案審議のあらまし	9
常任委員会報告、議員だより～私の思い～	10
平成29年度予算の内容	11
予算審査特別委員会・第1回臨時会結果	13
議員の活動実績・議会の動き・あとがき	14



平成29年 第1回 定例会

平成29年第1回定例会が、3月1日から10日まで10日間の会期で開かれました。

招集日3月1日の行政報告で、町長から次の4点が報告されました。

1. 3月4日のJR北海道のダイヤ改正に伴う、バス時刻表の改正及び一部路線の見直しについて、札幌発の最終便が現行の17時48分から18時30分と42分遅くなることにより、終点を浜頓別ターミナルまでに短縮するほか、到着が大幅に遅れた場合にバスに代わる輸送手段として「有料乗合タクシー事業」の調整などを行っている。
2. 町立歯科診療所に対し、昨年9月に厚生労働省北海道厚生局による個別指導が行われ、多岐にわたり「改善事項」が示された。これに対し、「改善報告書」を提出するとともに「医療費の自主返還」をする。返還金は保険者に対し3,528,345円、受診者に436,121円で確定された。

杉澤宗一郎所長から、一身上の都合を理由とし5月31日をもって契約解除の申出があり、早急に新たな歯科医師確保対策を講じたい。

3. 国保病院において、4月1日から作業療法士1名を採用し、昨年採用した理学療法士と2名体制でリハビリテーション業務を実施する。
4. 中頓別町農業体験交流施設の管理運営について、指定管理者である（有）シビル開発より、3月末日をもって指定管理の解除の申出があった。新たな指定管理者の公募をしたが応募者がなかったため、平成29年度については町直営で管理運営を行う。

3月5日に開催されたサンデー議会では、小林町長が平成29年度町政執行方針、田邊教育長が教育行政執行方針を表明、一般質問を通じて7名の議員が町長、教育長の所信を質（ただ）しました。

3月8日には、10年間不在であった副町長に現総務課長の遠藤義一氏を選任することに賛成多数で同意したほか、条例案等13議案と平成28年度各会計補正予算7議案を原案可決しました。

本会議休会中の3月8日、9日、平成29年度各会計予算案を全議員で構成する「予算審査特別委員会」（星川三喜男委員長）で審査。全8会計予算を原案可決し、本会議に報告。再開された本会議で原案可決し、全日程が終了したため、会期を1日残して3月9日に閉会しました。

第1回定例会で 決まりました



議決結果の一覧

- | | | | |
|----------|--|----------|-----------------------------|
| ○ 議案第1号 | 固定資産評価審査委員会委員の選
任同意 | ○ 議案第15号 | 平成28年度水道事業特別会計補正
予算 |
| ○ 同意第2号 | 副町長の選任同意 | ○ 議案第16号 | 平成28年度介護保険事業特別会計
補正予算 |
| ※ ○ は同意 | | ○ 議案第17号 | 平成28年度後期高齢者医療事業特
別会計補正予算 |
| ○ 議案第1号 | 空家等の適正管理に関する条例 | ○ 議案第18号 | 平成29年度一般会計予算 |
| ○ 議案第2号 | 課設置条例（一部改正） | ○ 議案第19号 | 平成29年度自動車学校事業特別会
計予算 |
| ○ 議案第3号 | 個人情報保護条例（一部改正） | ○ 議案第20号 | 平成29年度国民健康保険事業特別
会計予算 |
| ○ 議案第4号 | 行政手続における特定の個人を識
別するための番号の利用等に関す
る法律に基づく個人番号の利用及
び特定個人情報提供に関する条
例（一部改正） | ○ 議案第21号 | 平成29年度国民健康保険病院事業
会計予算 |
| ○ 議案第5号 | 職員の勤務時間、休暇等に関する
条例（一部改正） | ○ 議案第22号 | 平成29年度水道事業特別会計予算 |
| ○ 議案第6号 | 商工業振興支援条例（一部改正） | ○ 議案第23号 | 平成29年度下水道事業特別会計予
算 |
| ○ 議案第7号 | 税条例（一部改正） | ○ 議案第24号 | 平成29年度介護保険事業特別会計
予算 |
| ○ 議案第8号 | 国民健康保険税条例（一部改正） | ○ 議案第25号 | 平成29年度後期高齢者医療事業特
別会計予算 |
| ○ 議案第9号 | 自動車学校運営に関する条例（一
部改正） | ○ 議案第26号 | いきいきふるさと推進条例（一部
改正） |
| ○ 議案第10号 | 町道路線の変更 | | |
| ○ 議案第11号 | 平成28年度一般会計補正予算 | | |
| ○ 議案第12号 | 平成28年度自動車学校事業特別会
計補正予算 | | |
| ○ 議案第13号 | 平成28年度国民健康保険事業特別
会計補正予算 | | |
| ○ 議案第14号 | 平成28年度国民健康保険病院事業
会計補正予算 | | |

※ ○ は原案可決

ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ（<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>）で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。町ホームページから「議会」へ進みご覧ください。

議会はみなさんの暮らし、福祉などの身近な問題を議論する大切な会議です。

議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、Tel 6-2244（議会事務局）へ。

ここが聞きたい、知りたい

私たちの一般質問

第1回定例会は、町長が平成29年度町政執行方針、教育長が教育行政執行方針を表明。7議員が一般質問を行いました。

細谷久雄議員



質問
●公共施設等の照明のLED化について

LED照明は、従来の照明器具より長寿命でランプ交換する頻度が軽減され、消費電力が少なく電気料金も軽減できるが、導入が遅れている。

役場庁舎の現状と今後の取り組みは。また、学校は地域で最も身近な公共施設であり、積極的に導入することは環境教育的にも当然のことであると思うが、小・中学校における導入についてどのように考えているか伺う。

答 弁 ○小林町長

町が管理する道路照明を平成26年度にLED化し、電気料金を約45%節減することができた。

役場庁舎、小中学校だけでなく公共施設全体の維持管理コストの削減を図

るためLED化を進めていくこととし、今年度に策定する中頓別町町有施設長寿命化計画及び公共施設等総合計画の中に位置づけ、施設維持管理・修繕にあわせながら事業化していきたい。

宮崎泰宗議員



質問

●副町長の設置や課の増設は町民の負担増となる

人口減少などへの効果的対策を打ち出せていない中で副町長を置き、課を増やすということは、その報酬等が町民にとってより重い負担となる。以前2課に分かれていた建設課と産業課を1つにまとめたのは、公共事業の減少が主な理由であり、低成長時代にあつて、なぜまた分離するのか。安易な課の設置は、これまでの行革努力を無にするもので町民に説明できない。また、課の設置に関してグループ制は廃止し

ないのか。課と同一単位のグループは必要ないと思うがいかがか。

副町長を置き、課を増やせば公文書等の間違いは無くなるのか。ここ数年、中頓別町行政は間違いが非常に多く、今の職員内で単に配置が変わるだけなら何も変わらないと思うがいかがか。

答 弁 ○小林町長

町民のためというのが第一である。副町長を置くことも、産業建設課を二つに分けることもこの考え方に反することなく、一定の財政規律を堅持したなかで対応しなければならぬ。大きな課題である人口減少対策・地方創生に取り組むほか、多様化、複雑化する行政事務を適切に執行していくためにも必要であると考えている。

グループ制はしばらく現状維持としたい。

公文書等の間違いについては申し訳なく、すべて改善できるとはいえないが、副町長にもチェックしてもらうような役割の一つとしたい。

質問

●職員採用について

社会人枠の一般行政職として、農業、林業、商工、福祉の4分野から経験者を募集していたが、採用は行われたのか。町村会の高卒試験では合格者に採用を断られたようであるが事実か。ま

た、今回と同じような内容で4月に試験を予定されているようであり、同時に保育士も1名募集しているが、なぜ保育士にだけ専門試験があるのか。

2月の試験でも指摘されていたが、広報で周知された時点で既に受付期間が始まっており、ホームページにも掲載されないのはなぜか。

答 弁 ○小林町長

社会人枠の一般行政職採用試験は、2月5日に実施したが合格者はおらず、昨秋の初級職員採用試験でも、追加分を含めて3名に対し採用内定を通知したが、いずれも採用辞退の申し出があった。

答 弁 ○遠藤総務課長

2月の試験は2名の応募があり、いずれも町外からの問い合わせであったが、これは新たに掲載したハローワークの求人を目にしてとのことであった。面接だけでなく、これまで保育士の採用には専門試験を実施しており、社会人枠では適性試験がこれに当たる。広報やホームページなどの掲載で不備が続いていることについては今後注意したい。

質 問

●町政執行方針から

ライドシェア、空き家、ブドウ、このようにどこからか降って湧いたよう

な話を行き当たりばったりと感じる町民は多く、理解される努力が足りないのではないか。

ライドシェアは先日のテレビ報道でも、交通会議の月額報酬がドライバーへの費用弁償として関連付けられており、議会の中でも当初そのように説明しながら、無料を謳い続けるのには無理があると思うが。

ブドウは、どこで、どのような品種を栽培するのか。

空き家対策は、所有者が不明の場合でも行政代執行できるのか。

答 弁 ○小林町長

いずれも町としての基本政策に立つた取り組みであり、行き当たりばったりとは考えていないが、より広く町民の理解を得ながら進めることは必要と思う。

答 弁 ○長尾総務課参事

ライドシェアについては、交通会議出席の費用弁償である5千円がドライバーへの報酬とならぬよう、必ずしも交通会議に参加する必要はないとすることも考えている。

答 弁 ○平中産業建設課長

醸造用ブドウの試験栽培については、山ブドウ系の品種を40本程度、離農した元酪農家の畑など、2か所で定植することを考えている。ブドウに適した有効積算温度は先進地より低いが、可

能性を判断していきたい。

答 弁 ○遠藤総務課長

空家対策条例が制定されても、所有者が特定できない物件に対し、行政代執行を行うことはできず、飛散防止措置を講じた小学校近くの危険廃屋についても、現時点では代執行等他の対応は考えられない。

質 問

●福祉施設の今後について

経営危機にある南宗谷福祉会では新年度からの経営改革案が示されたようであるが、その内容を把握しているか。指導監督権限を持つ町として改革効果をどの程度と見込んでいるのか。

55歳昇給停止ではなく、昇給スピードを落とすということではないか。特号俸の廃止や手当の削減も、同時に昇給基準を見直し、役付の有無に関わらず、全員が上級職に渡れる改正と聞いている。町は確認しているのか。

答 弁 ○小林町長

南宗谷福祉会から示されている赤字削減対策としては、俸給表の特号俸の廃止や55歳昇給停止、資格手当見直し等による経費削減や、業務改善に向けて研修会等による職員のレベルアップ、又は資格取得に対する支援や働きやすい環境の整備を行い、人材確保や資格取得の安定を図ることが提案された。

これらの見直しにより、平成29年度の予算見込では、特別養護老人ホーム及び養護老人ホーム合わせて前年度対比で、1千万円以上の経費削減を見込んでいる。

答 弁 ○吉田保健福祉課長

改革案の内容は、担当課としても町長の答弁どおり特号俸の廃止や55歳昇給停止などと把握しており、変わりなく実行されると考えている。

東海林 繁 幸 議員



質 問

●町政執行方針について、重点化するべき3つの柱から

- 1 こども子育て支援について
- ① 保育料の大幅軽減に言及しているが、無償化を考えているか。
- ② 社会教育の推進が項目化されたが、成人教育の基本的な考えを伺いたい。

2 福祉のまちづくりについて

① 認知症施策の具体的対応について伺う。

② 障がい者対策は、ほとんど知的障がい者、精神障がい者の対応である。身体障がい者に対する支援事業は不十分である。

3 地域経済再生について

① 今廃業しようとしている商店の継承に町としてどのように対応しようとしているのか。担当職員が相談に応えられるような状況にあるのか。

② 企業誘致に期待を持たせている石灰石の事業内容がないがなぜか。

③ ワイン用ブドウの試験研究が予算化され期待しているが、取り組み心構えを伺いたい。

答 弁 ○小林町長

1 ① 当面は現状の保育料体制を継続する考えであるが、子ども・子育て施策の充実に向けて見直しもしていく。無償化については今後の検討課題とする。

1 ② 芸術文化振興、健康づくり・スポーツ振興を2本の柱に据えている。この推進のために実践する人や体制づくりなど、必要な支援を行いたい。

2 ① 昨年12月に「中頓別町認知症初期集中支援チーム」を設置し、

4月より「認知症地域支援推進員」を配置し、認知症高齢者が安心して生活できる環境をつくるためのネットワークづくりをしていく。

町内事業所との情報交換のほか、自治会組織を核とした見守りのしくみづくりができないか今後検討したい。

2 ② 身体障がい者相談員の配置や日常生活用具給付のほか、町の独自事業として福祉ハイヤー助成事業、除雪サービス等を実施しているが、2種重度者に限られており、1種

重度者の適用を今後検討する。

3 ① 商店等の廃業は地域の生活力や利便性、魅力も低下させる。継続するための支援を検討するとともに、商工会や関係機関と連携し、相談活動を積極的に行う。

3 ② 事業者が1月に鉱業権を取得し、前向きに計画を進めているが、詳細については時間を要するとのことである。町としては、具体的な計画の提出を受けてから、支援等に関する協議を行いたい。

3 ③ 6次産業化や、新たな特産品の開発に向けた取り組みの一つとして位置づけている。本年度は50㎡の試験圃場2か所を確保し、苗30〜40本程度を植え付けする。実がなるまでに3年、安定した収穫に

は10年かかる。まずは本町でのブドウ栽培の可能性について検証し、日本最北のワイナリーの設置を目指して第一歩を進めたい。

質 問

●教育行政執行方針について

方針内容は教育現場のあり方であり、これを指導・助言する執行体制についての言及がない。教育委員会の管理、指導・助言体制は万全か。

特に社会教育専門職配置に法令違反はないか。

答 弁 ○田邊教育長

教育長として校長会・教頭会を通じて学校教育のタイムリーな指導・助言に努めている。また、宗谷教育局の指導主事や義務教育指導監の学校経営指導に教育長も同席し、学校運営等に係る指導・助言を行っている。

社会教育事業については、関係する団体と実行委員会を設置し、協議を行い実施している。

社会教育の指導について、兼務ではあるが社会教育主事も配置されており、不十分ではあるが法令に違反するとは考えていない。

長谷川 克 弘 議員



質 問

●安全町民生活を支える体制、対策の確立について

昨今、地球規模の気候変動、異常気象により、道内においても河川氾濫・洪水が多発している。昨年8月末の南富良野町幾寅の空知川堤防決壊による水害は記憶に新しいところであるが、平成28年度はわが町において防災訓練が行われず、危機管理体制等の取り組みが軽視されていると思うが、行政・消防・自治会・各団体の連携をどのように構築・強化するおつもりか。

答 弁 ○小林町長

昨年の夏に道内で起こった災害を目の当たりにして、これまでやってきた防災訓練がそのままいいのかと考えた上で、従前のやり方を踏襲した訓練の実施を見送る結果となった。新年度

では、災害の想定や避難場所などを見直した上で、訓練内容に関しても充実を図って実施したい。

今後、危機管理体制の確立に向け、建設協会等との防災協定締結に向けた協議をはじめ、各自治会における「自主防災組織」の設立への支援を推進し危機管理体制の強化を図る。

質問

●快適なスポーツ環境の整備について

老朽化著しい町民体育館について、冬季の厳寒期における室内スポーツ施設である体育館は、快適に運動ができる施設でなければならぬ。平成27年第2回定例会で、「整備方法を検討する」という答弁を前教育長から受けているが、この2年間足踏み状態であり、劣悪な環境下での使用が続いている状況を改善してほしいというのはスポーツを愛好している町民からの声でもある。是非、検討から行動を起こしていただきたい。

答 弁 ○田邊教育長

現在、町民体育館には入口側の左右にストープがあるが、この設備では厳寒期に体育館内がスポーツに快適な環境となるには、不十分と認識している。

老朽化している教育関連施設等の整

備計画にかかわるが、今秋までに、暖房器具の設置に向けて行動する。

佐藤 奈緒 議員



質問

●災害時緊急対応について

中頓別町平成27年度版洪水ハザードマップで、あかね全域が1m～2m、特別養護老人ホーム長寿園については2m～5mと洪水の程度が予想されている。長寿園については十分な避難体制を整えておく必要があるがどうなっているか。長寿園ができて一度も整備したことがないのか。ハザードマップは平成27年度版であり、この一年間避難体制が整っていない理由を伺う。

答 弁 ○小林町長

万が一、頓別川が氾濫した場合、長寿園入所者の避難場所の確保は大きな課題である。現状では、明確な避難先

の確保や避難方法の確定はできていない状況であり、早期に関係者との協議の場を設けて対策に努めたい。

答 弁 ○遠藤総務課長

長寿園ができて40年余りたつが、今まで避難先、避難場所の確保はないと認識している。今後は早期に関係者と協議をし、一定の方向性を示したい。

質問

●妊婦健診について

厚生労働省の一般的な基準としては14回が妥当とされ、全国的にも9割を超える自治体が14回の受診券を発行している。本町もその基準に則って14回になっているが、出産は予定日の前後2週間は正常範囲とされている。14回を使い切ると全て自己負担になり、健診1回につき3千円から4千円かかり負担も増える。

子ども子育て支援の面でも上乘せして16回にできないか。稚内市では平成28年度から16回になっている。

答 弁 ○小林町長

母子保健法に基づき町村が実施する妊婦一般健康診査は、「妊婦に対する健診についての望ましい基準」に沿って回数、検査内容等が示されている。本町では妊婦の健康保持とすこやかな出産を支援するため、「妊婦健康診

査等の助成に関する条例」に基づき、健康診査及び通院に係る交通費の助成を行ってきた。

提案の上乗せ分については、町独自の取り組みとして前向きに検討する。

西浦 岩雄 議員



質問

●DMO^(注)のあり方について

執行方針の中に中頓別版DMOを進めるための具体的な検討・協議が述べられているが、観光だけに特化せず、産業全体を考えて多方面からの関係者が参画できる組織が必要と思う。

二通りがあると思うが、既存の観光に携わる組織及びそれに付随する組織をまとめて構成するのか、別の組織を立ち上げるのか、どのような機構(組織づくり)を考えているのか。

答 弁 ○小林町長

新組織は様々な団体、組織が横断できる組織とし、観光に関連するすべての情報を集約し、一元的な情報発信を行うとともに、暮らし体験等の滞在交流プログラムの企画、商品化から宿泊や体験、食事等のサービスの提供、マーケティング及び地域ブランディング等を行う組織と位置づけている。このようなことから、既存の観光関連組織や団体にとらわれず、地域全体が携わるような組織構成が必要と認識している。

既存施設の運営組織や新たに加わる団体等との調整もあるため、組織の具体的な構成や設立に向けたスケジュール等については今後さらに協議していく必要があるが、これからの本町の地域づくりの核となり得る組織であり、来訪者による外貨が地域全体に循環する仕組みづくりと、運営及び経営が安定的に継続できる組織となるよう、これまで観光分野に取り組んできた観光協会、商工会の思いも大切に組織づくりに取り組んでいきたい。

注)DMO

観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習など地域にある観光資源に精通し、地域と共同して観光地域作り等を行う法人のこと。

星川三喜男 議員



質 問

●町民負担を伴う副町長は断念を

私は今ほど危機を感じることはない。副町長を置けば、その年収が町民の重い負担となる。その分を公共料金の引き下げや福祉の充実に振り向ける発想はないのか。

長年、副町長を置かなかったのは英断であり、創意工夫で乗り切ってきた。本町行政の誇りであり、むしろ、早期に副町長を置かない条例を提案すべきである。

答 弁 ○小林町長

町の健全な財政運営のため、人件費も適切な範囲で抑制し、その中でより高い組織力を発揮できる組織機構を構築していくことが課題であると考えている。副町長の配置はそのために行うものであり、効率的・効果的な行財政

運営に資するとともに、町民サービスの向上につながるためにも必要であると考えている。

質 問

●住宅手当の削減について

平成29年度一般会計予算の職員手当のうち、住宅手当が272万円計上され、前年度の3倍に膨らんでいる。この額は本町の1世帯当たり3,000円、町民一人当たり1,500円に相当する。職員のために町民が負担しなければならぬ。

町内には住宅手当のない事業所も多い。住宅手当を廃止、若しくは減額し、町民負担を減らすべきではないか。

答 弁 ○小林町長

職員の住宅手当は、国家公務員に準拠した基準で支給している。平成29年度では現対象者に2名の新規採用者を見込んで予算計上した。職員手当の額は増加しているが、一方で、職員住宅の廃止や民間アパートの増加により、町が管理する住宅数が抑制される効果もあり、相対的には町全体としての住環境の改善が図られていると受け止めている。

住宅手当は国の基準に沿って制度化しており、今後現行基準どおりに支給すべきと考えている。

議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。

議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、6月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申しあげております。

議決審議のあらまし

第1回定例会では、新年度予算など28議案を審議しました。
平成29年度各会計予算は、予算審査特別委員会（星川三喜男委員長）に付託して審査され、全会計原案どおり可決しました。
平成28年度各会計補正予算とその他の条例改正案等は本会議・いきいきふるさと常任委員会で審議され、すべて原案どおり可決しました。

3月1日議決

○議案第11号 一般会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ2億8千14万円を追加し、予算の総額は38億9千394万円に。

決算見込に基づく追加、減額のほか、国保病院に対する繰出金1億2千32万円を追加して総額3億3千483万円に。教員住宅1棟4戸の建設費7千753万円を追加。特別会計繰出金では1千275万円を追加して総額1億9千16万円に。基金費では、地方創生基金に1億4千万円、公共施設等整備基金に1億円を積み立て、総額3億5千55万円とするもの。

○議案第12号 自動車学校事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ102万円を減額し、予算の総額は3千559万円に。

歳出では、決算見込に基づく追加、減額。歳入では、教習生の減により、一般会計からの繰入金を153万円追加して、総額1千462万円とするもの。

○議案第13号 国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ64万円を減額し、予算の総額は2億9千539万円に。

歳出では、決算見込みに基づき保険給付費等を減額。歳入では、一般会計からの繰入金を1千416万円追加して、総額2千874万円とするもの。

○議案第14号 国民健康保険病院事業会計補正予算

病院事業収益は、収入で入院・外来収益合わせて1億1千124万円を減額。一般会計繰入金として1億2千270万円を追加し、繰入金総額2億6千304万円に。収入総額は5億5千395万円に。

支出では、雑損失に1千47万円を計上し、総額5億4千895万円に。

○議案第15号 水道事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ190万円を減額し、予算の総額は9千78万円に。

決算見込みに基づき、電気料、修繕費、委託料、工事費等を減額するもの。

○議案第16号 介護保険事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ9万円を減額し、予算の総額は2億3千133万円に。

決算見込みに基づく追加、減額。

○議案第17号 後期高齢者医療事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ84万円を減額し、予算の総額は2千637万円に。

広域連合納付金等を減額するもの。

○議案第2号 課設置条例（一部改正）

現在の産業建設課を産業課と建設課に分け、住民ニーズに迅速に 대응、一層質の高いサービスを提供できる体制とするもの。

○議案第3号 個人情報保護条例（一部改正）

法律の改正に伴い改正するもの。

○議案第4号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例（一部改正）

法律の改正に伴い改正するもの。

○議案第5号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例（一部改正）

法律の改正に伴い改正するもの。

○議案第6号 商工業振興支援条例（一部改正）

事業費要件を低額にした対象事業を追加し、助成金の交付対象を拡充することにより、商工業事業者に対する支援を拡充するもの。

○議案第7号 町税条例（一部改正）

法律の改正に伴い改正するもの。

○議案第8号 国民健康保険条例（一部改正）

平成29年4月1日から、基礎課税限度額医療分を52万円から54万円に、後期高齢者支援分を17万円から19万円に、介護分を14万円から16万円にそれぞれ改正するもの。

○議案第9号 自動車学校運営に関する条例（一部改正）

学生の入校者の減免規定を設け、入校者の確保につなげるもの。

○議案第10号 町道路線の変更

道路法に基づく、町道あかね5条通り線の起終点、延長等の変更。

○議案第26号 いきいきふるさと推進
条例（一部改正）

平成29年4月1日から、出生祝金を
現行の3万円（商品券）から、第1子、
第2子を10万円（うち5万円分商品
券）、第3子以降30万円（うち5万円
分商品券）に改正するもの。

3月8日議決

○同意第1号 固定資産評価審査委員
会委員の選任同意

任期満了に伴い、字弥生の小野洋一
さんの再任に同意。

任期 平成29年5月29日

○同意第2号 副町長の選任同意

平成19年6月から不在の副町長に、
現総務課長の遠藤義一氏を選任するこ
とに同意。

任期 平成29年4月1日

○議案第1号 空家等の適正管理に関
する条例（いきいきふるさと常任委
員会付託事件）

平成33年3月31日
適切に維持管理がなされず放置され、
様々な問題を引き起こしている空き家
等について、町としての基本姿勢を示
して、対策を計画的に進めるため制定
するもの。

いきいきふるさと常任委員会報告

（2月14日調査分）

いきいきふるさと常任委員会（東海林繁幸委員長）
は、所管事務調査を実施し、その結果を3月1日の第
1回定例会に報告しました。

調査事項

- 1 第7期総合計画後期実施計画について
- 2 観光振興計画について
- 3 ピンネシリ温泉の運営について
- 4 町内工事視察

特別養護老人ホーム長寿園増改修工事

調査結果

- 1 平成24年度から平成28年度までの前期実施計画の
実施状況、評価、課題などを踏まえて策定した平成
29年度から平成33年度までの後期実施計画における
最重要課題、重点課題について説明を受けた。
 - 2 現在策定中の観光振興計画の骨子について説明を
受けた。
 - 3 平成28年12月末現在の損益計算書と平成29年1月
末現在の宿泊者数、入館者数、会食者数をもとに経
営内容の説明を受けた。利用者数は前年同期を上回
っており、営業利益は昨年度の28万9千円から12
5万3千円増の154万2千円を見込んでいる。
 - 4 本年度から3力年計画で実施している特別養護老
人ホーム長寿園増改修工事を視察した。
- 審査意見**
- 2 観光振興計画について、計画案ができた段階で議
会に示してもらうことを要望する。

議員だより く私の思い

このコーナーは、それぞれの議員が町づくり
や議会活動などについて思いを綴るものです。

『酪農振興への期待』

本町の基幹産業である酪農。酪農業の仕事は朝5時
から始まる。まず、牛は大量に糞をするので牛床の掃
除に始まり、餌やり、搾乳、子牛の哺乳などで3〜4
時間、昼間は餌やり、牛床の掃除。夕方は再び朝の作
業の繰り返し。動物相手の仕事のため365日休みは
なく、たまに休むとなると酪農ヘルパーを依頼するこ
とになり、休むにもお金がかかる。

酪農業の収入は乳代と牛の個体販売のみで、経営す
るには経営戦略が重要になる。酪農の形態は繋ぎとフ
リーストールの2種類があり、それぞれメリット・デ
メリットがあるが、本町は繋ぎ形態が多い。昨年より、
「なかとん牛乳」の製造が始まり、町内の商店でも販
売され、購入者からは「濃くておいしい」と好評を得
ている。

酪農業は3Kと言われ、大変なイメージが先行して
いるが、親の仕事を子どもに見せられることや家族経
営で人間関係に悩むことがないなど、酪農業ならではの
良い面もたくさんある。

高齢化が進み、年々、離農件数が増えているが、新
規就農者が少しずつ増え、減少傾向にある酪農業に歯
止めをかけたつある。全国で新規就農者が増えていく
ことを期待している。

（綴人 佐藤奈緒）

平成29年度 8会計予算成立

～総額46億7,218万円～



予算審査特別委員会（星川委員長）

一般会計をはじめとする平成29年度8会計予算案は、全議員で構成する「予算審査特別委員会」（星川三喜男委員長）に審査を付託。
特別委員会では、3月8日、9日に審査を行い、原案可決。
9日、再開された本会議で星川委員長から報告され、審議の結果、委員長報告とありすべて原案可決しました。

平成29年度予算編成内容

本年度の予算総額は、46億7,218万円で前年度比6,417万円（1.4%）の減少となりました。

一般会計は、前年度比3,482万円（1.0%）の増額であります。

歳入では、大半を占める地方交付税については、国の地方財政計画上ほぼ前年度同額が確保されていることから前年度比4,040万円増としています。国庫支出金では、地方創生推進交付金の計上や道路橋梁費補助金の増額などにより9,869万円の増額、道支出金では、地域づくり総合交付金の減少などにより5,372万円の減額、町債については、継続事業である特別養護老人ホーム施設整備助成事業費の減少により5,205万円の減額となっています。

歳出では、人件費で2,911万円の減額、物件費では、地方創生や観光振興、新エネルギー等の各種新規事業の増加により6,696万円の増額となっています。補助費では、特別養護老人ホーム施設整備助成金の減少などにより9,617万円の減額、普通建設事業では町道や寿スキー場リフト整備等に係る新規事業や、継続事業である林業専用道などにより1億4,613万円の増額となりました。

財政健全化に努力したことにより、収入に占める公債費が減少しましたが、収入の多くを占める地方交付税については依然不透明な部分が多く、今後財源確保に苦慮する事態も予想されます。予算執行にあたっては、行政サービスを低下させることなく効率性を追求しながら収支均衡を実現することが求められています。

■各会計予算の状況

（単位：万円）

会計別	年度別	平成29年度 予算額	平成28年度 予算額	比較	
				金額	率%
一般会計		33億7,905	33億4,423	3,482	1.0
自動車学校事業特別会計		3,306	3,530	▲224	▲6.3
国民健康保険事業特別会計		2億7,232	2億8,237	▲1,005	▲3.6
国民健康保険 病院事業会計	収益的収支	5億2,759	5億3,396	▲637	▲1.2
	資本的支出	3,679	1億1,978	▲8,299	▲69.3
水道事業特別会計		8,843	9,118	▲275	▲3.0
下水道事業特別会計		9,116	8,873	243	2.7
介護保険事業特別会計		2億1,764	2億1,360	404	1.9
後期高齢者医療事業特別会計		2,614	2,720	▲106	▲3.9
合計		46億7,218	47億3,635	▲6,417	▲1.4

■一般会計

歳入

(単位：万円)

款	29年度	28年度	比較	増減%
町税	15,734	15,452	282	1.8
地方譲与税	4,873	4,672	201	4.3
地方交付税	194,343	190,303	4,040	2.1
使用料手数料	9,836	9,918	▲82	▲0.8
国庫支出金	25,125	15,256	9,869	64.7
道支出金	14,571	19,943	▲5,372	▲26.9
財産収入	893	838	55	6.6
繰入金	8,581	9,079	▲498	▲5.5
諸収入	4,876	4,263	613	14.4
町債	53,272	58,477	▲5,205	▲8.9
その他	5,801	6,222	▲421	▲6.8
合計	337,905	334,423	3,482	1.0

歳出

(単位：万円)

款	29年度	28年度	比較	増減%
議会費	4,421	4,439	▲18	▲0.4
総務費	57,853	59,051	▲1,198	▲2.0
民生費	67,873	78,987	▲11,114	▲14.1
衛生費	38,670	39,431	▲761	▲1.9
労働費	6	7	▲1	▲14.3
農林水産業費	20,823	19,247	1,576	8.2
商工費	16,258	10,942	5,316	48.6
土木費	29,804	17,911	11,893	66.4
消防費	14,531	13,244	1,287	9.7
教育費	19,514	17,767	1,747	9.8
公債費	42,898	48,586	▲5,688	▲11.7
諸支出金	25,204	24,761	443	1.8
その他	50	50	0	0.0
合計	337,905	334,423	3,482	1.0

予算計上された主な臨時事業

(単位：万円)

科目・会計	臨時事業名	事業費	主な事業内容
総務費	新エネルギー導入事業	629	バイオマス事業計画策定
	全社会資源参加シェアコミュニティ構築事業	2,375	ライドシェア運営事業、その他分野シェア実証試行
民生費	特別養護老人ホーム施設整備助成事業	25,000	特別養護老人ホーム増改修事業に対する補助
衛生費	し尿処理車両購入費助成事業	990	バキューム車両購入費一部助成
農林水産業費	森林管理道松暦線開設事業	1,300	道営事業負担金
	林業専用道天北線開設事業	3,250	延長400m、幅員3.5m
商工費	プレミアム商品券発行事業	350	プレミアム商品券発行補助
	地域産業創出による雇用創出促進事業	3,980	観光パンフレット、ホームページ作成、コテージ改修、周辺整備等委託
土木費	中頓別駅向線整備・交付金事業	7,000	延長270m、幅員5.5m、歩道270m
	橋梁長寿命化修繕・更新・点検事業	3,700	藤山橋修繕、松栄橋設計、点検22橋
	秋田原野線整備・交付金事業	8,300	延長1,000m、幅員5.5m、概略設計
教育費	町費負担教員配置	721	教員2名
	寿スキー場リフト設備実施設計	1,620	リフト、支柱等交換実施設計
	寿スキー場ロッジ等改修実施設計	220	トイレ、バリアフリー化実施設計

予算審査特別委員会 主な質疑&答弁



○ 一般会計

歳出

■ 農林水産業費

問 森林管理事業で購入するチェーンソー1台の用途は。(東海林委員)

答 強風等による風倒木が林道通行の妨げとなっており、被害状況確認の際に利用するもの。(平中産業建設課長)

■ 商工費

問 中小企業融資貸付金の返済未納額、貸付件数、貸付額の現在高は。(東海林委員)

答 返済未納額はない。貸付現在高は、本年2月2日現在で11件、5千300万円である。(平中産業建設課長)

問 中華大学インターシップ事業補助金400万円の使用は。(東海林委員)

答 中華大学学生を受け入れるための宿泊施設の確保、通訳の経費、観光プログラム作成委託料などである。(平中産業建設課長)

■ 土木費

問 公営住宅入居者が退去した場合、防犯上、ドアの鍵の交換が必要ではないか。(宮崎委員)

答 今後検討したい。(山内産業建設課参事)

歳入

■ 地方交付税

問 普通交付税が前年度比4千40万円増となっているが、その根拠は。(東海林委員)

答 平成28年度交付額20億328万円で、平成29年度は地方財政計画2・2%の減を考慮し、19

億5千929万円を見込んでいます。前年度に比べ当初事業に充当した額が増えているが、1億1千578万円の留保額としている。(長尾総務課参事)

■ 使用料及び手数料

問 公営住宅共有部分の電気料は、入居者が徴収・支払いをされているが、高齢化に伴い負担が増加している。町が行うことはできないか。(宮崎委員)

答 老人単身住宅入居者から相談があったが、課内で検討したい。(山内産業建設課参事)

○ (自由討議・討論なし)

○ 後期高齢者医療事業特別会計予算

問 後期高齢者広域連合において特例軽減措置の軽減率を変更する条例改正が行われたが、本町で対象となる人数、影響額は。(佐藤委員)

答 広域連合で調査中のため、調査終了後にお知らせしたい。(吉田保健福祉課長)

○ (自由討議・討論なし)

○ 自動車学校事業特別会計予算

○ 国民健康保険事業特別会計予算

○ 国民健康保険病院事業会計予算

○ 水道事業特別会計予算

○ 下水道事業特別会計予算

○ 介護保険事業特別会計予算

○ (質疑・自由討議・討論なし)

第1回臨時会結果 (3月27日)

平成29年第1回臨時会が3月27日招集され、次の3議案を原案可決しました。

○ 議案第27号 平成28年度一般会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ1千万円を追加し、予算の総額は39億394万円に。

国民健康保険事業特別会計への繰入金1千万円を追加して総額3千874万円に。

○ 議案第28号 平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入のうち、財政調整交付金を1千万円減額、一般会計からの繰入金を1千万円追加して、繰入金総額3千874万円に。

○ 議案第29号 平成29年度一般会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ356万円を追加し、予算の総額は33億8千262万円に。歳出では、ピンネシリ温泉機械設備修繕料356万円(商工費)を追加。

議会の動き

29年1月

- 16日 宗谷町村議会議長会定期総会（稚内市）
- 27日 広島県大崎上島町交流団歓迎会
- 28日 第34回北緯45度しばれまつり

2月

- 4日 認定こども園生活発表会
- 14日 いきいきふるさと常任委員会（所管事務調査）
- 17日 議会運営委員会
- 22日 議会運営委員会

3月

- 1日 第1回定例会
- 4日 中華大学観光学院視察団歓迎懇談会
- 5日 第1回定例会（サンデー議会）
- 8日 第1回定例会
いきいきふるさと常任委員会（付託審査）
予算審査特別委員会
- 9日 予算審査特別委員会
第1回定例会
自治記念式表彰審議委員会
- 11日 武部代議士・吉田道議・三好道議を囲む新春の集い（稚内市）
- 13日 中頓別中学校卒業式
- 19日 中頓別小学校卒業式
- 20日 台湾観光関連等視察団歓迎懇親会
- 21日 南宗谷消防組合議会（枝幸町）
南宗谷衛生施設組合議会（浜頓別町）
- 27日 第1回臨時会
- 28日 認定こども園卒園式

4月

- 1日 認定こども園入園式
自治記念式
- 7日 中頓別小学校入学式
中頓別中学校入学式
- 10日 議会広報編集特別委員会
- 17日 議会広報編集特別委員会



議員の活動実績と一般質問回数

（平成28年4月～平成29年3月）

議員名	定例会・臨時会		各種委員会		一般質問回数
	出席義務日数	出席日数	出席義務日数	出席日数	
佐藤奈緒	13	12	18	17	3
長谷川克弘	13	13	26	26	3
西浦岩雄	13	13	10	10	3
宮崎泰宗	13	13	10	10	4
細谷久雄	13	13	26	26	4
東海林繁幸	13	13	18	18	4
星川三喜男	13	13	18	18	4
村山義明	13	13	18	18	-

（注1）議員名は議席番号順（7番日が副議長、末尾が議長）

（注2）各種委員会は、議会運営委員会、常任委員会、議会広報編集特別委員会、決算審査特別委員会、予算審査特別委員会等を指します。

（注3）一般質問は、定例会（年4回）で行われます。

（注4）一部事務組合議会議員（細谷議員、長谷川議員、東海林議員、佐藤議員）の日数は含まれていません。

編集後記

入学シーズンとなり、そこ此処に初々しい新入生の姿を見かけるこの頃ですが、町民の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年の寿スキー場も3月20日です故もなく無事に営業を終了することができ大変うれしく感じています。我が家は今年も親子で教育委員会主催の「キッズスキー教室」に参加しました。子供たちも去年はほとんど滑ることができなかったのですが、教育委員会の方のマンツーマンによる熱心な指導のもと練習を重ね、最終日には初心者コースの中腹から下まで滑って降りられる位まで上達することが出来ました。

私は中頓別に嫁いで8年目になりますが、キッズスキー教室はマンツーマンで指導してくださり尚且つ無料であるというところにすごく驚いていると同時に、もともと道内、道外に中頓別町の素晴らしいところとしてアピールするべきと感じています。そして町内に素晴らしいスキー場があるということに感謝しています。道内でも近くにスキー場がなく、遠方まで出かけスキーをする方も少ない中で、町内にスキー場があるというのは中頓別町の素晴らしい魅力の一つではないでしょうか。

議会広報編集特別委員会(佐)